

# 野尻湖と遊ぼう！

野尻湖とは・・・

野尻湖は長野県と新潟県の県境付近にある湖です。1948年にナウマンゾウの臼歯の化石(通称ゆたんぼ)が発見され、それ以降、発掘調査が行なわれ、現在までにナウマンゾウ、ヤベオオツノジカなどの化石が多数出土しています。こちらのブースでは、野尻湖に分布する火山灰と、生息していた哺乳類について一緒に勉強していきましょう。

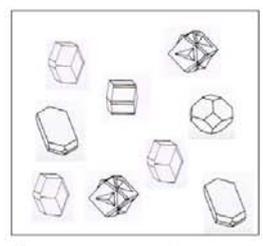


## のぞいてみよう！ 火山灰の魅せる世界

ここでは、火山灰を使って**万華鏡**を作ります。火山灰とは火山から噴出してきたものの中の一つです。野尻湖の近くには黒姫山、妙高山といった火山があります。今はおとなしい山ですが、野尻湖にナウマンゾウやヤベオオツノジカのいた時代には活発に活動し噴火を繰り返していました。いまでも野尻湖の湖底堆積物中には当時の噴火による火山灰を見ることができます。



火山灰中には石英、ガラス、長石、輝石、角閃石といった小さい石の集まりで出来ていて、顕微鏡で見るととてもキレイです。今回は、この石英、輝石などを使って顕微鏡を作ります。簡単に作れますので是非体験してみてください！



← 火山灰を顕微鏡で見たものを模式的に表したものです。

### 火山灰を使って自分だけの 万華鏡を作ってみよう！！



この骨!?  
どの骨?  
だれの骨!?

